デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HSC-S2	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   （ヘ）本書のご提示がない場合。
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP121のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP121のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。　S2-791013

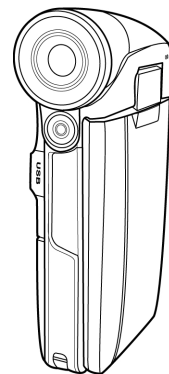
取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ（ムービータイプ）

HSC-S2

このたびは、デジタルカメラHSC-S2型をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P122
※はじめに（P4～P12）を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

i.mega

目次

はじめに　4

基本操作編　25

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

応用操作編　59

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

パソコン接続編　91

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

付録　105

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告



異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。



移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。



不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。



火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。



種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警 告



アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。



電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。



お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。



落下などにより、ムービーライト部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。



ムービーライトを人の目に近づけて発光しない。

目の近くでムービーライトを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。



大音量で長時間続けて聞きすぎない。

イヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

⚠注 意



コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。

火災・感電の原因になります。



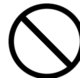
大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。

電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。



飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。

事故の原因になることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



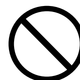
異常な高温になる場所に置かない。

暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。



本製品の上にものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



ムービーライトの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。

故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。



カメラをストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。

けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または関連のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- Microsoft及びWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- その他記載された社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

大切な撮影の前には必ずためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。

本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池4本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。このカメラでお使いいただく単4形アルカリ乾電池は3本になります。残りの1本は予備になります。決して予備の電池を他の種類の電池と一緒に使わないでください。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、**単4形マンガン乾電池は使用できません。使用できる電池** P27

万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSB/AV接続ケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスクなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

撮影時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフは設定することができます。**操作音のオン／オフを設定する** P62

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなったり、光の帯が表示されることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

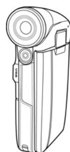
SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカードを使用できます。
(32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB(SDHC)対応)
miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。
(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット(初期化)** P64 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P64 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア(DVD-R、ハードディスクなど)へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面(コンタクトエリア)にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

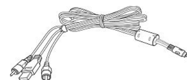
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

・カメラ本体・



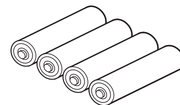
・専用USB/AVケーブル



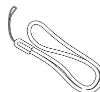
・取扱説明書(本書)



・単4形アルカリ乾電池(4本)



・ストラップ



・カメラポーチ

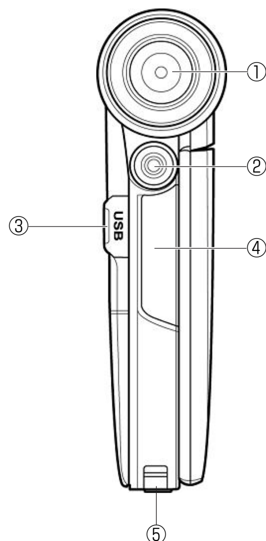


- **SDメモリーカードを使う場合** P35 **、SDメモリーカードについて** P12 をあわせてご覧ください。
- **以降、この取扱説明書では、専用USB/AVケーブルをUSB/AVケーブルと表記します。**

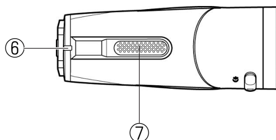
■ 各部の名称

正面

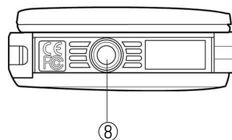
①レンズ
②LEDムービーライト
③USBポート
④SDメモリーカードスロット
⑤ストラップ取付部
⑥LEDランプ
⑦スピーカー
⑧三脚取付用ネジ穴



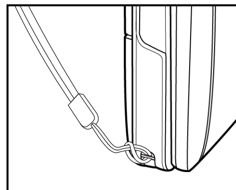
上面



底面

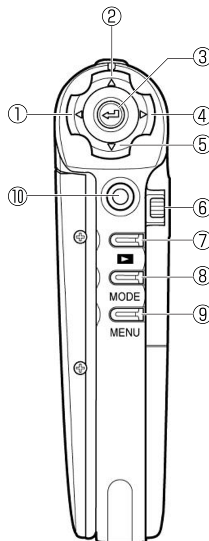


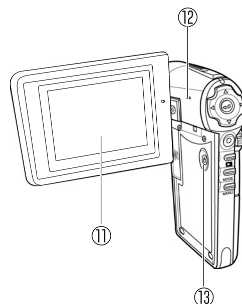
ストラップの取付け方



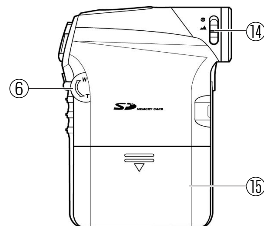
背面

①◀（左）ボタン
②▲（上）ボタン
③OKボタン
④▶（右）ボタン
⑤▼（下）ボタン
⑥ズームレバー
⑦再生ボタン
⑧MODE（モード）ボタン
⑨MENU（メニュー）ボタン
⑩シャッターボタン
⑪液晶モニター
⑫マイク
⑬電源ボタン
⑭フォーカススイッチ
　▲▲ 標準
　❀ マクロ
⑮電池カバー

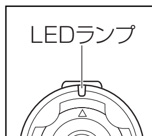




左面

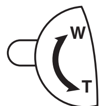


LEDランプ



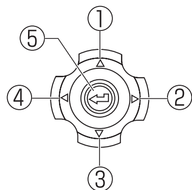
表示方法	色	操作・状態
点灯	グリーン	電源オン時
	レッド	フォーマット中
		画像を消去中
		すべての画像にプロテクトを設定中
点滅	グリーン	電池の残量がなくなる直前時
	グリーン／レッド（交互）	動画／静止画撮影時
		画像の記録中
		パソコン接続時、本機をマスストレージとして認識中

ズームレバー



動画撮影／静止画撮影モード時にズーム撮影をする P46 場合や、再生モード（静止画像）時にズーム再生をする P49 場合、また再生モード（動画像）時に音量の調整をする場合に使用します。

コントロールパネル



コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって、複数の役割があります。
以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

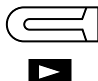
《動画撮影／静止画撮影モード時》

No.	ボタンの名称	機能
①	【▲】ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合や露出補正の段階を上げる P77 場合に使用します。
②	【▶】ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合や液晶モニターの表示を切り替える P23 場合に使用します。
③	【▼】ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合や露出補正の段階を下げる P77 場合に使用します。
④	【◀】ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合や静止画撮影モード時にセルフタイマーモードの時間を設定する P78 場合に使用します。
⑤	OKボタン	各メニュー画面で決定する場合やLEDムービーライトの設定を選ぶ P44 場合に使用します。

《再生モード（動画像）／再生モード（静止画像）時》

No.	ボタンの名称	機能
①	【▲】ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合や（一つ後の）画像を選ぶ場合に使用します。
②	【▶】ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合や液晶モニターの表示を切り替える P23 場合に使用します。
③	【▼】ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合や（一つ前の）画像を選ぶ場合に使用します。
④	【◀】ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合に使用します。
⑤	OKボタン	各メニュー画面で決定する場合に使用します。

再生ボタン



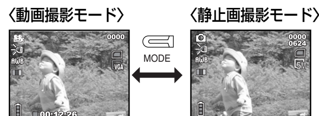
動画撮影モードから 再生モード（動画像）へ、
静止画撮影モードから 再生モード（静止画像）へ切り替える場合に使用します。
また、各再生モードから撮影モードへ切り替える場合に使用します。



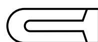
MODE（モード）ボタン



動画撮影モードと 静止画撮影モードの切り替えに使用します。



MENU（メニュー）ボタン



MENU

各モード時に設定可能な項目を表示させます。

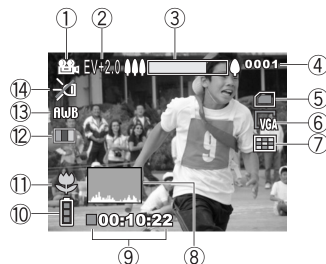
- 各メニュー表示時に、再度MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー表示がキャンセルされ、各モードに戻ります。
- 各モードで表示させるメニュー及び設定項目については**メニューと設定項目** P114 をご覧ください。

以降、この取扱説明書では、コントロールパネル、OKボタン、再生ボタン、MODE（モード）ボタン、MENU（メニュー）ボタンでの操作を次のように表記します。

- コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】に押す操作
  - → 【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
  - → 【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- OKボタンを押す操作
  - →OKを押す
- 再生ボタン、MODE（モード）ボタン、MENU（メニュー）ボタンを押す操作
  - → ▶ 、MODE、MENUを押す

■ 液晶モニターの表示

動画撮影モード時　動画を撮る P38



①動画撮影モードマーク

②露出補正 P77
　−2.0EV〜+2.0EV
　（1/3EVステップ）
　（※+0時は非表示）

③ズームインジケーター P46
　1倍〜8倍

④撮影ファイル数

⑤メモリ P35
　内蔵メモリー使用
　SDメモリーカード使用

⑥画像サイズ（記録画素数） P71
　QVGA（320×240）
　VGA（640×480）
　D1（720×480）

⑦画質（詳細表示時のみ） P72
　ファイン（低圧縮モード）
　ノーマル（高圧縮モード）

⑧ヒストグラム（詳細表示時のみ）

⑨撮影可能目安時間 P117

⑩電池残量 P28
　電池の残量は十分です。
　電池の残量が少なくなっています。
　まもなく電池の残量がなくなります。
　電池の残量がありません。

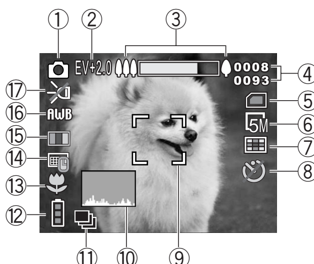
⑪撮影距離モード P45
　表示なし　標準
　マクロ

⑫色効果 P76
　カラー
　セピア
　白黒

⑬ホワイトバランス P74
　オート
　晴天
　曇天
　白熱灯
　蛍光灯

⑭LEDムービーライト P44
　オフ
　オン
　ナイトモード

静止画撮影モード時　静止画を撮る P42



①静止画撮影モードマーク

②露出補正 P77
　−2.0EV〜+2.0EV
　（1/3EVステップ）
　（※+0時は非表示）

③ズームインジケーター P46
　1倍〜8倍

④撮影枚数／撮影可能目安枚数 P117

⑤メモリ P35
　内蔵メモリー使用
　SDメモリーカード使用

⑥画像サイズ（記録画素数） P71
　（1280×960）
　（約123万画素）
　（2048×1536）
　（約315万画素）
　（2592×1944）
　（約500万画素）

⑦画質（詳細表示時のみ） P72
　ファイン（低圧縮モード）
　ノーマル（高圧縮モード）

⑧セルフタイマー P78
　セルフタイマー5秒
　セルフタイマー10秒
　セルフタイマーオフ

⑨フォーカスフレーム P43

⑩ヒストグラム（詳細表示時のみ）

⑪撮影モード P80
　表示なし　シングル撮影
　連写

⑫電池残量 P28

⑬撮影距離モード P45
　表示なし　標準
　マクロ

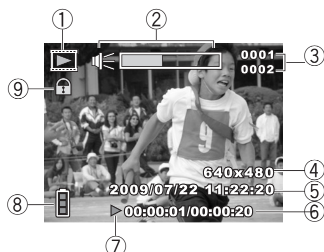
⑭日付プリント（詳細表示時のみ） P81
　表示なし　オフ
　オン

⑮色効果 P76
　カラー
　セピア
　白黒

⑯ホワイトバランス P74
　オート
　晴天
　曇天
　白熱灯
　蛍光灯

⑰LEDムービーライト P44
　オフ
　オン
　ナイトモード

再生モード（動画像）時　動画像を見る P47



①動画像再生モードマーク
②音量レベル P47
③ファイル番号／画像総数
④画像サイズ P71
⑤撮影日時
⑥再生経過時間／総記録時間
⑦動作モード P48
▶再生
❚❚ 一時停止
■停止
2X▶▶ 4X▶▶ 8X▶▶早送り
2X◀◀ 4X◀◀ 8X◀◀巻戻し
⑧電池残量 P28
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
電池の残量がありません。
⑨プロテクトマーク P82
（※画像プロテクト設定時に表示）

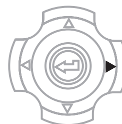
再生モード（静止画像）時　静止画像を見る P49

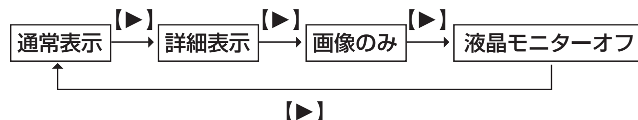


①静止画像再生モードマーク
②ファイル番号／画像総数
③画像サイズ P71
④撮影日時
⑤電池残量 P28
⑥プロテクトマーク P82
（※画像プロテクト設定時に表示）

液晶モニターの表示切替について

各モードでの液晶モニターの表示は、【▶】を押して、切り替えることができます。





≪ヒストグラムについて≫

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したもので、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げて表します。撮影した画像のヒストグラムの形状を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

- **中央を中心とした山の形状になっている場合：**
  暗い部分、中間の部分、明るい部分がバランスよく撮影された適正露出の画像
- **山の高い部分が極端に左側に寄っている形状の場合：**
  暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像。夜景など黒いものが画像の大部分を占めている場合もこのような形状になります。
- **山の高い部分が極端に右側に寄っている形状の場合：**
  明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像。白いものが画像の大部分を占めている場合にもこのような形状になります。

- 撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムを表示しています。
  撮影前と撮影後では、ヒストグラムに差が生じます。特に、LEDムービーライトのオン／ナイトモード時や暗い場所での撮影時には、大きく差が出る場合があります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もありますので、必ずしも中央を中心とした山の形状になっている場合が適性ではありません。

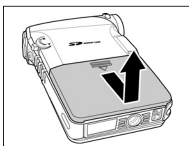
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

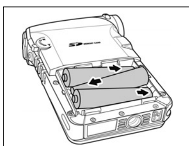
■ 電池を入れる

1



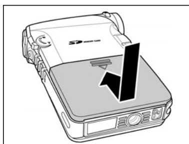
電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



電池の＋側－側を確認し、単4形アルカリ乾電池3本を正しい方向で装着します。

3



電池カバーを閉めます。

- 電池の交換は電源をオフ P29 にして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池を使用できます。液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示** P28 をご覧ください。

- 単4形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池4本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。このカメラでお使いいただく単4形アルカリ乾電池は3本になります。残りの1本は予備になります。決して予備の電池を他の種類の電池と一緒に使わないでください。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P117 ）は、約100枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単4形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。
- オキシライド乾電池を使用することは可能ですが、電池残量の表示など正しく表示できない場合があります。

電池残量の表示

▮ 電池の残量は十分です。

▮ 電池の残量が少なくなっています。

▯ まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、フォーマットする P64 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

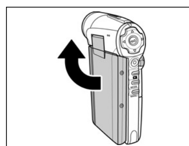
▯ 電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P117 にてご確認ください。

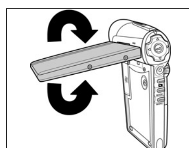
■ 電源のオン／オフ

1



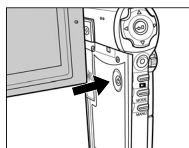
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

3



電源をオンにするには、電源ボタンを押します。
電源をオフにするには、再度電源ボタンを押します。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能(オートパワーオフ機能)がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する(初期設定は[5分] P66)と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源ボタンを押して電源をオンにしてください。

- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P87 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。
- 動画と静止画のオートパワーオフの時間は同じになります。

■ 日付/時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付/時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付/時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約1週間バックアップされますが、電池の使用時間によっては、リセットされる場合があります。**
- **ここで設定した日付/時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す** P68 **操作を行っても保持されます。**

1

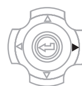




動画撮影/静止画撮影/再生/再生モードからMENUを押します。

[動画撮影]/[静止画撮影]/[再生]メニューが表示されます。

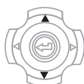
2





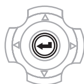
【▶】を押します。

[設定]メニューが表示されます。



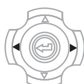


【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、



OKを押します。

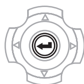
［日付／時刻］設定画面が表示されます。





【◀】【▶】で年／月／日／時／分／秒の項目を移動し、各項目ごとにOKを押して、【◀】【▶】で数値を調整し、OKを押して決定します。すべての項目を合わせたら、☑の上でOKを押します。

［設定］メニューに戻ります。



■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電源周波数のお買い上げ時の設定は［50Hz］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

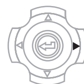




動画撮影／静止画撮影／再生／再生モードからMENUを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

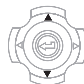




【▶】を押します。

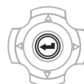
［設定］メニューが表示されます。

3



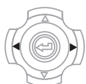


【▲】【▼】で［電源周波数］を選び、



OKを押します。

4





【◀】【▶】で [50Hz]／[60Hz]を選び、



OKを押します。

[設定]メニューに戻ります。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。

本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB（SDHC）対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵128MBフラッシュメモリー搭載）
また**内蔵メモリー内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P89 こともできます。

- **撮影可能時間・枚数の目安については、画像記録時間・枚数 P117 をご覧ください。**

・ご使用中のSDメモリーカードのカードサイズやメモリー残量の情報は、[設定] メニュー内 [メモリ情報] で確認できます。

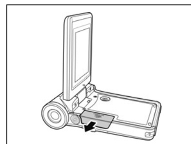
SDメモリーカードを使用していない場合は内蔵メモリーの情報が確認できます。

メニューと設定項目 P114

操作方法は、各モードからMENUを押して、【◀】【▶】で [設定] メニューを表示させ、【▲】【▼】で [メモリ情報] を選びOKを押します。

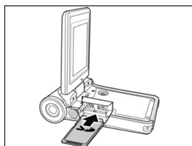
SDメモリーカードはカメラ背面にあるSDメモリーカードスロットに装着します。

1



液晶モニターを開け、SDメモリーカードスロットカバーを開けます。

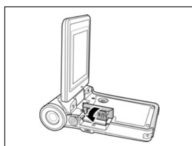
2



挿入する方向を確認してから、SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。

（SDメモリーカードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します）

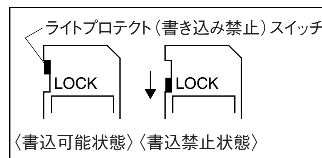
3



SDメモリーカードスロットカバーを閉めます。

- メモリーカードスロットカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDメモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリーに記録したり、内蔵メモリー内の画像を消去することはできません。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
  フォーマットする P64
- miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源がオンの状態でSDメモリーカードを取り出すと、SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について



SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると、液晶モニターに「カードロック」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

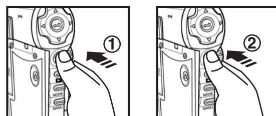
例〈動画撮影時〉



動画／静止画を撮る

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。半押しと全押しの操作（感覚）については、実際に撮影される前に必ずお試しください。**試し撮りについて P9**

シャッターボタンの押し方

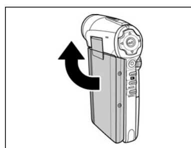


シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

	①半押し （浅く押したとき）	②全押し （深く押したとき）
動画撮影時	使用しません	撮影を開始／ ストップします
静止画撮影時	液晶モニターに［ ］ （フォーカスフレーム） を表示します	シャッターが切れます

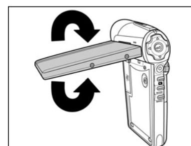
■ 動画を撮る

1



液晶モニタを外側に開きます。

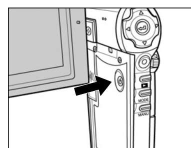
2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

- 液晶モニターが完全に開いていることを確認してから、角度を調整してください。
- 液晶モニターは正しい方向に回転してください。
  無理な方向に力を入れて動かすと、破損する恐れがあります。
- 液晶モニターを回転する際は、液晶部分に触れないでください。
- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

3



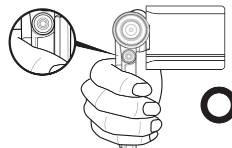
電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

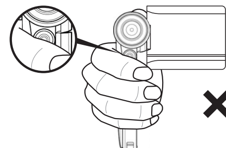
初期設定値は動画撮影モードです。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

ご注意

カメラは本体下側を持ち、指でレンズ・LEDムービーライト・マイクを隠さないようにご注意ください。





4



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。



シャッターボタンを全押しし、撮影を開始します。

・液晶モニターに赤の録画中マークと撮影時間が表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。

5



撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

撮影をストップします。

- 撮影に必要なメモリー残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。
- セルフタイマー撮影はできません。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビ、携帯電話など）からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像や音声が乱れる場合があります。

動画ファイルについて

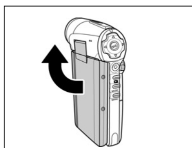
画像サイズ（記録画素数）	QVGA／VGA／D1
記録画像ファイルフォーマット	AVI（画像データ：Motion JPEG、音声：ADPCM）
フレームレート	30フレーム/秒
記録時間	SDメモリーカード1GB（別売）時：12分26秒（VGA／ファイン画質の場合）

- 記録時間は、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 記録可能時間は、撮影開始前に、メモリー容量を確認し、一定のデータを記録することを考慮して、設定しています。そのため表示している記録可能時間より長く、記録できる場合があります。その時は、液晶モニター上に、再度設定された記録可能時間が表示されます。
- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

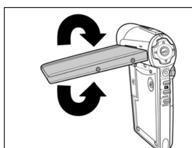
■ 静止画を撮る

1



液晶モニターを外側に開きます。

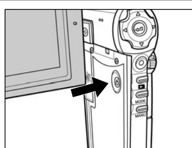
2



液晶モニターを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

- 液晶モニターが完全に開いていることを確認してから、角度を調整してください。
- 液晶モニターは正しい方向に回転してください。
  無理な方向に力を入れて動かすと、破損する恐れがあります。
- 液晶モニターを回転する際は、液晶部分に触れないでください。
- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

ご注意

カメラは本体下側を持ち、指でレンズ・LEDムービーライト・マイクを隠さないようにご注意ください。

4

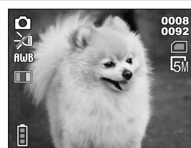


MODE



動画撮影モードからMODEを押して静止画撮影モードに切り替えます。

5



被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

6



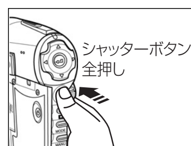


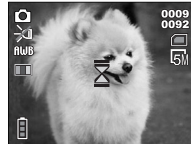
被写体を中心に合わせ、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに［ ］(フォーカスフレーム)が表示されます。

“ピッ”という音が鳴ります。

7





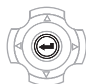
半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます(全押し)。

- シャッター音がして、液晶モニターに ⌛ が表示されます。
- シャッターボタンを全押しして、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因となります。⌛ の表示が終わるまでカメラを固定してください。

■ LEDムービーライトを使う

撮影状況、目的に応じてムービーライトの設定を選んでください。

1



動画撮影／静止画撮影モードでOKを押します。

LEDムービーライトが点灯します。
再度、OKを押すとナイトモードになります。
再度、OKを押すとオフになります。

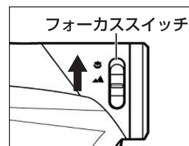
モード	設定内容
オフ **初期設定**	LEDムービーライトは点灯しません。
オン	LEDムービーライトが点灯します。
ナイトモード	暗いところで撮影したい場合に使用するモードです。連動範囲（推奨）は、被写体から約0.6m以内です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。

- **ここで選んだムービーライトモードは、電源をオフにするとオフモードに戻ります。**
- **オン／ナイトモードで ▶ またはMENUを押すと、再生／再生モードまたは各メニューに切り替わり、自動的にオフモードになります。再度、▶、MENUを押して 動画撮影／静止画撮影モードに切り替えると、自動的にオン／ナイトモードに戻ります。**

■ 近距離撮影をする（マクロ撮影）

撮影状況、目的に応じて撮影距離モードの設定を選んでください。

1



フォーカススイッチを（マクロモード）に切り替えます。

液晶モニターにが表示され、マクロモードが設定されたことをおしらせします。

撮影距離モード	設定内容
マクロモード	近距離のものを撮影したい場合に使用するモードです。ピント合わせは、約15cm～16cmです。
標準モード	通常の撮影時に使用するモードです。約1.5m～∞の範囲でカメラが自動的にピントを合わせます。

マクロモードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。

■ ズームを使う

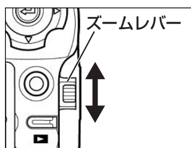
被写体をズーム倍率8倍（デジタルズーム）まで拡大して撮影できます。

1



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。

2



ズームインジケーター



液晶モニターで被写体を確認しながらズームレバーを回してズームを調整します。

拡大率は液晶モニターのズームインジケーターに表示されます。

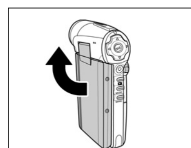
広角側W：広角になります。

望遠側T：望遠になります。

- デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
- ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、再度電源を入れ直すと、ズームなし（標準）に戻ります。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできませんので、ご注意ください。

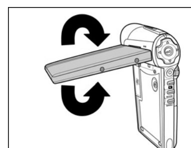
動画像を見る

1



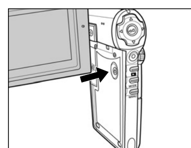
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ角度を調整します。

3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

4

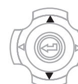




動画撮影モードから ▶ を押して 再生モードに切り替えます。

最後に撮影された動画像が表示されます。

5





【▲】【▼】で再生する動画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

6

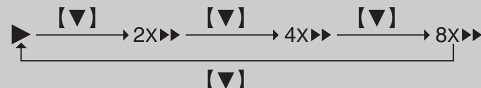




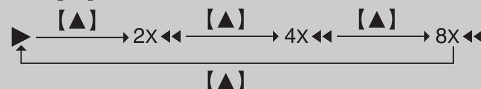
シャッターボタンを全押しすると再生をスタートし、再生時間がカウントされます。

再生中の操作

- シャッターボタンを全押しすると一時停止❚❚します。
- OKを押すと再生を停止■します。
- 【▼】を長押しすると2倍速送りになります。以後、【▼】を押すごとに倍速が切り替わります。



- 逆に【▲】を押すと巻戻しになります。



- ズームレバーで音量の調整ができます。

動画像再生中の液晶モニターの表示について

動画像再生中でも、【▶】を押すと液晶モニターの表示を変更できます。
一度押す→詳細表示　二度押す→表示オフ　三度押す→液晶モニターオフ

液晶モニターの表示切替について P23

動画像はズーム再生ができません。

静止画像を見る

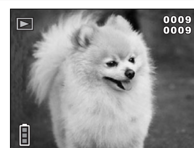
1



MODEを押して 静止画撮影モードに切り替えます。

2

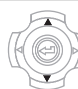




静止画撮影モードから ▶ を押して ▶ 再生モードに切り替えます。

最後に撮影された静止画像が表示されます。

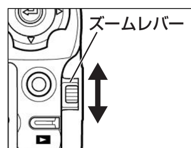
3





【▲】【▼】で再生する静止画像を選びます。

4



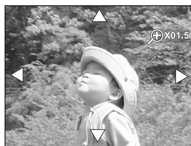


ズームレバーを下側へ回すと16倍まで拡大表示することができます。戻すときは上側へ回します。

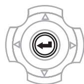
液晶モニターに拡大率と△マークが表示されます。

5





【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を変更することができます。





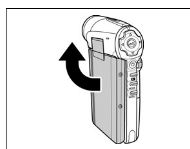
OK押すと、元の表示に戻ります。

画像を消去する

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。
消去を行うときは、本当に不要なファイル（画像）かどうかよく確かめてから行ってください。
画像を消去するには、**画像を選んで消去する**方法と、**すべての画像を消去する**方法があります。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

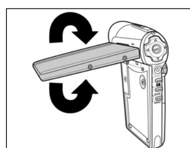
画像を選んで消去する

1



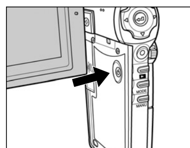
液晶モニターを外側に開きます。

2



液晶モニターを回転させ角度を調整します。

3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

4





▶ を押して ▶ 再生／▶ 再生モードに切り替えます。

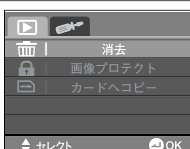
動画像を消去するときは 動画撮影モードから、静止画像を消去するときは、静止画撮影モードから ▶ を押します。

最後に撮影された画像が表示されます。

5



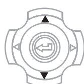
MENU



MENUを押します。

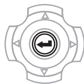
［再生］メニューが表示されます。

6



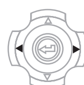


【▲】【▼】で［消去］を選び、



OKを押します。

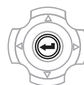
7





【◀】【▶】で （現在の画像）を選び、

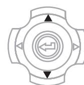
（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）



OKを押します。

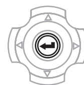
画像選択画面が表示されます。

8





【▲】【▼】で消去したい画像を選び、

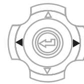


OKを押します。

確認画面が表示されます。

（［再生］メニューに戻る場合はMENUを押します。）

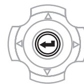
9





【◀】【▶】で［はい］を選び、

（キャンセルする場合は［いいえ］を選びます。）



OKを押します。

選んだ画像が消去され、次の画像が表示されます。

すべての画像を消去する場合は、**すべての画像を消去する** P54 の手順で操作してください。

すべての画像を消去する

1

▶



▶を押して再生／再生モードに切り替えます。

動画像を消去するときは動画撮影モードから、静止画像を消去するときは、静止画撮影モードから▶を押します。

最後に撮影された画像が表示されます。

2

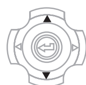
MENU



MENUを押します。

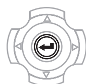
[再生] メニューが表示されます。

3



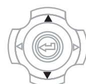


【▲】【▼】で [消去] を選び、



OKを押します。

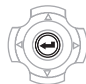
4





【◀】【▶】で（すべての画像）**を選び、**

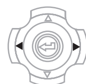
（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）



OK押します。

消去確認画面が表示されます。

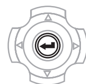
5





【◀】【▶】で☑（実行）**を選び、**

（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）



OKを押します。

全画像が消去され、液晶モニターに「画像がありません」と表示されます。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のUSB／AV接続ケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

ビデオ出力のお買い上げ時の設定は [NTSC] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1





動画撮影／静止画撮影／再生／再生モードからMENUを押します。
[動画撮影]／[静止画撮影]／[再生]メニューが表示されます。

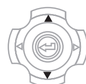
2

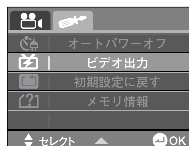




【▶】を押します。
[設定]メニューが表示されます。

3

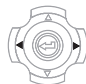




【▲】【▼】で [ビデオ出力] を選び、

OKを押します。

4





【◀】【▶】で [NTSC]／[PAL]を選び、

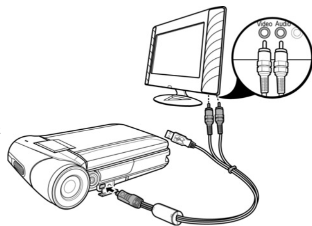
OKを押します。
[設定]メニューに戻ります。

ここで選んだビデオ出力は、初期設定に戻す **P68** **操作や電源をオフにした後も保持されます。**

1 カメラとテレビの電源を入れ、**テレビと接続する前に** P56 に従って、テレビの方式を確認します。

2 付属のUSB／AV接続ケーブル（付属）のミニプラグをカメラのAV出力端子に接続します。

※奥までしっかり差し込んでください。



3 USB／AV接続ケーブルの黄色いプラグをテレビの画像入力端子に、白いプラグをテレビの音声入力端子に接続します。

4 テレビの入力切換をビデオ入力に切り替えます。

（カメラの液晶モニターがオフします）

テレビに画像が表示されます。

カメラを再生モードにすると、動画像および静止画像をテレビ画面に表示します。

テレビ画面に表示します。

操作方法はカメラと同様です。

動画像を見る P47 ・**静止画像を見る** P49

5 終了するときはカメラの電源をオフにして、付属のUSB／AV接続ケーブルを外します。

- 接続した際は、USB／AV接続ケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

応用操作編の各項の≪モード≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ 表示言語を設定する

モード：

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
English (英語)
简体中文 (中国語)

表示言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

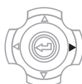

MENU



動画撮影／ 静止画撮影／ 再生／ 再生モードからMENUを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

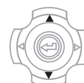




【▶】を押します。

[設定]メニューが表示されます。

3

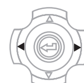




【▲】【▼】で [表示言語] を選び、

OKを押します。

4





【◀】【▶】で設定したい表示言語を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し[設定]メニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P68 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モード：

操作音の**オン** **初期設定** ／**オフ**を設定できます。

1

MENU



動画撮影／ 静止画撮影／ 再生／ 再生モードからMENUを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2



【▶】を押します。

[設定]メニューが表示されます。

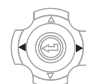
3



【▲】【▼】で[操作音]を選び、

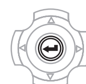
OKを押します。

4





【◀】【▶】で ☒ [オフ]／☑ [オン]を選び、



OKを押します。

- 操作音をオフに設定するとすべての操作音が消えます。シャッター音も消えてしまいますので、ご注意ください。
- ここで選んだ操作音の設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと[オン]に戻ります。

■ フォーマットする

モード：

フォーマット（初期化）とはSDメモリーカードに画像及びデータを記録できるようにする作業のことです。

- 新しいSDメモリーカードや、他のカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**してから使用してください。
- フォーマット（初期化）するとSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1



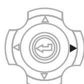
MENU



動画撮影／静止画撮影／再生／再生モードからMENUを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

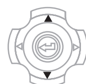




【▶】を押します。

［設定］メニューが表示されます。

3

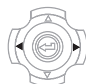




【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、

OKを押します。

4





【◀】【▶】で☑（実行）を選び、

（キャンセルするする場合は☒を選びます。）

OKを押します。

フォーマットが実行され［セットアップ］メニューに戻ります。

- フォーマット実行中は液晶モニターに「フォーマット中...」と表示されます。

応用操作編

フォーマットする

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード： (設定)

オートパワーオフの時間を設定できます。

オートパワーオフ機能について P30

⊠ オフ
1分
5分 **初期設定**

1

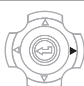




動画撮影／ 静止画撮影／ 再生／ 再生モードからMENUを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

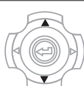


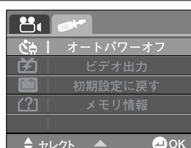


【▶】を押します。

[設定]メニューが表示されます。

3

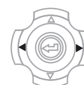




【▲】【▼】で[オートパワーオフ]を選び、

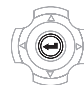
OKを押します。

4





【◀】【▶】で⊠[オフ]／ [1分]／ [5分]を選び、



OKを押します。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと[5分]に戻ります。
- USB接続している場合や、**スライドショー再生** P87 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

■ 初期設定に戻す

モード：

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

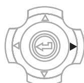
MENU



動画撮影／静止画撮影／再生／再生モードからMENUを押します。

[動画撮影]／[静止画撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

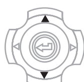


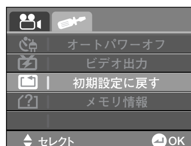


【▶】を押します。

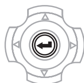
[設定]メニューが表示されます。

3



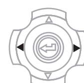


【▲】【▼】で[初期設定に戻す]を選び、



OKを押します。

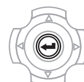
4





【◀】【▶】で☑[実行]を選び、

（キャンセルするる場合は☒を選びます。）



OKを押します。

各種設定を初期設定に戻し、[セットアップ]メニューに戻ります。

各項目の初期設定

設定項目		初期設定
画像サイズ P71	動画撮影	VGA（640×480）
	静止画撮影	5M（2592×1944）
画質 P72		ファイン
ホワイトバランス P74		オート
色効果 P76		フルカラー
連写 P80		シングル撮影
日付プリント P81		オフ
露出補正 P77		+0
表示言語 P60		日本語
操作音 P62		オン
電源周波数 P33		50Hz
オートパワーオフ P66		5分
ビデオ出力 P56		NTSC

表示言語、電源周波数（ヘルツ）、ビデオ出力の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

撮影（動画／静止画）について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード： 動画／静止画

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

動画サイズ

撮影する動画サイズを設定します。サイズが大きいほど高画質ですが、容量も大きくなります。

QVGA（320×240）

VGA（640×480）**初期設定**

D1（720×480）

画質

撮影する画質を設定します。高画質なほど鮮明な画像となりますが、容量も大きくなります。

ファイン（低圧縮（動画:1/14、静止画:1/8）モード）**初期設定**

ノーマル（高圧縮（動画:1/18、静止画:1/12）モード）

静止画サイズ

撮影する静止画サイズを設定します。

1M（1280×960）（約123万画素）

3M（2048×1536）（約315万画素）

5M（2592×1944）（約500万画素）**初期設定**

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと動画サイズは [VGA]（640×480）に、画質は [ファイン] に、静止画サイズは [5M]（2592×1944）に戻ります。
- 各画像サイズ、画質での記録時間・枚数については、**画像記録時間・枚数** P117 をご覧ください。

画像サイズを設定する場合

1

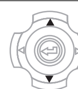




動画撮影／静止画撮影モードからMENUを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

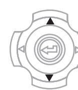




【▲】【▼】で［画像サイズ］を選び、

OKを押します。

3





【▲】【▼】で［QVGA］／［VGA］／［D1］を選び、

OKを押します。

静止画撮影も静止画撮影モードにて上記同様に静止画サイズを選択し、設定します。

画質を設定する場合

1

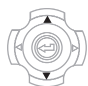
MENU



動画撮影／ 静止画撮影モードからMENUを押します。

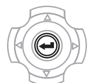
［動画撮影］／［静止画撮影］メニューが表示されます。

2



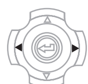


【▲】【▼】で［画質］を選び、



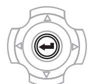
OKを押します。

3





【◀】【▶】で ［ファイン］／ ［ノーマル］を選び、



OKを押します。

静止画撮影も静止画撮影モードにて上記同様に画質を選択し、設定します。

画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、メモリーに記録できる撮影時間／枚数が少なくなります。

■ ホワイトバランスを設定する モード：動画／静止画

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

(AWB) **(AWB)オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**

晴天：晴天下での撮影

曇天：曇天下での撮影

白熱灯：白熱灯下での撮影

蛍光灯：蛍光灯下での撮影

1

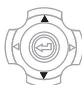
MENU



動画撮影／静止画撮影モードからMENUを押します。

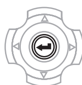
[動画撮影]／[静止画撮影]メニューが表示されます。

2



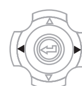


【▲】【▼】で[ホワイトバランス]を選び、



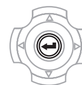
OKを押します。

3





【◀】【▶】で A [オート]／[晴天]／[曇天]／[白熱灯]／[蛍光灯]を選び、



OKを押します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと (AWB) [オート]に戻ります。

■ 色効果を設定する　モード：🎥／📷

撮影画像の色効果を設定します。

- フルカラー **初期設定**
- セピア
- 白黒

1

MENU

🎥 動画撮影／📷 静止画撮影モードからMENUを押します。

［動画撮影］／［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［色効果］を選び、

OKを押します。

3

【◀】【▶】で［フルカラー］／［セピア］／［白黒］を選び、

OKを押します。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと［フルカラー］に戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する　モード：🎥／📷

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出（明るさ）を補正することができます。

○設定できる露出補正の段階
（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：



1

🎥 動画撮影／📷 静止画撮影モードで【▲】【▼】を押して露出補正の段階を選びます。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと［0EV］に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

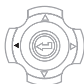
モード：📷

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。

セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

オフ **初期設定**
5秒：シャッターボタンを押してから5秒後に撮影されます。
10秒：シャッターボタンを押してから10秒後に撮影されます。

1





📷 静止画撮影モードで【◀】を押して [5秒] または [10秒]を選びます。

2

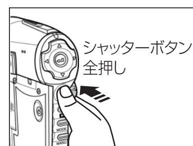




被写体を中心に合わせ、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに[ ]（フォーカスフレーム）が表示されます。
"ピッ"という音が鳴ります。

3





半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

セルフタイマーが作動し、液晶モニターに数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始します。
設定時間後に撮影されます。

- **撮影時の各設定（画像サイズ、ズーム、ホワイトバランス、露出補正、マクロモードなど）はセルフタイマー撮影時も有効です。**
- **セルフタイマーモードは、再度電源を入れ直したり、一度撮影が終わると解除されます。**

■ 連写撮影をする

モード：📷

本機は連写撮影をすることができます。
1回のシャッターボタンの操作で、自動的に3枚の画像を連写撮影します。

画像サイズや画質の設定によって、連写撮影の間隔が異なることがあります。

1 MENU

📷 静止画撮影モードから MENUを押します。
［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［連写］を選び、

OKを押します。

3

【◀】【▶】で□（シングル撮影）／□（連写）を選び、

OKを押します。

ここで選んだ撮影モードは、電源をオフにするか、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと［シングル撮影］に戻ります。

■ 日付プリントを設定する

モード：📷

撮影した日付を静止画に印字する（**初期設定** **オフ**）ことができます。この設定は撮影前に行ってください。また、印字した日付は取り消すことができませんのでご注意ください。

1 MENU

📷 静止画モードから MENUを押します。
［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、

OKを押します。

3

【◀】【▶】で ☒［オフ］／☑［オン］を選び、

OKを押します。

ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P68 操作を行うと［オフ］に戻ります。

再生(動画像／静止画像)について

■ 画像プロテクトを設定する　モード：▶／▶

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトを設定することができます。
プロテクトの設定には、**画像を選んでプロテクトを設定する**方法と、**すべての画像にプロテクトを設定する**方法があります。

- **プロテクトを設定した画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。**
- **プロテクトを設定した画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする** P64 **操作を行うと消去されます。**
- **プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチ** P37 **を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。**

画像を選んでプロテクトを設定する

1

▶を押して▶再生／▶再生モードに切り替えます。

動画像にプロテクトを設定するときは 動画撮影モードから、静止画像にプロテクトを設定するときは、 静止画撮影モードから▶を押します。

最後に撮影された画像が表示されます。

2

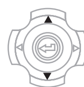




MENUを押します。

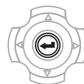
[再生] メニューが表示されます。

3



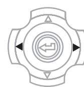


【▲】【▼】で[画像プロテクト]を選び、



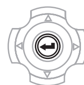
OKを押します。

4



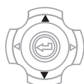


【◀】【▶】で (現在の画像) **を選び、**



OKを押します。

画像選択画面が表示されます。





5 【▲】【▼】でプロテクトを設定したいファイルを選び、
(キャンセルする場合は**メニューを**選びます。)

OKを押します。
選んだファイルにプロテクトが設定され、液晶モニターに 🔒 が表示されます。

●**プロテクトを解除する場合は上記手順 5 において、再度OKを押します。**

すべての画像にプロテクトを設定する場合は、**すべての画像にプロテクトを設定する** P85 の手順で操作してください。

すべての画像にプロテクトを設定する

1





▶ を押して 再生／▶ 再生モードに切り替えます。

すべての動画像にプロテクトを設定するときは 動画撮影モードから、すべての静止画像にプロテクトを設定するときは、 静止画撮影モードから ▶ を押します。

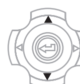
2


MENU



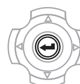
MENUを押します。
[再生] メニューが表示されます。

3





【▲】【▼】で[画像プロテクト]を選び、



OKを押します。

4





【◀】【▶】で（すべての画像）**を選び、**
（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）



OKを押します。

5





【◀】【▶】で**を選び、**
（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）



OKを押します。
すべてのファイルにプロテクトが設定されます。
●プロテクト設定中は液晶モニターに ⌛ が表示されます。

●すべての画像のプロテクトを解除する場合は上記手順5において、【◀】【▶】で を選び、OKを押します。

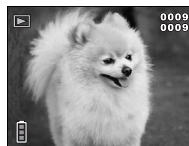
■ スライドショー再生をする

モード：▶

メモリー内にあるすべての静止画像を約2秒間隔でスライドショー再生することができます

1





📷 静止画撮影モードからMENUを押して ▶ 再生モードにします。

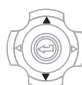
2

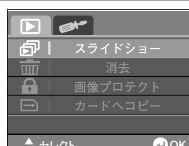




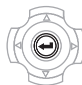
MENUを押します。
[再生] メニューが表示されます。

3





【▲】【▼】で[スライドショー]を選び、

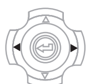


OKを押します。

応用操作編

画像プロテクトを設定する・スライドショー再生をする

4







【◀】【▶】で ☑（実行）を選び、
（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）

OKを押します。
最後に撮影された静止画像からスライドショー再生を開始します。



●スライドショー再生中にMENUを押すと、再生を中止して、[再生]メニューに戻ります。

●動画像はスライドショー再生できません。
●スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P66 ははたらきません。

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

モード： ▶／▶

内蔵メモリー（128MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。
SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

●本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
●本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
電池残量が ▯ の場合は、**電池を交換してから本操作を行うことをおすすめします。**
●本操作を行うと、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
●本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1





▶を押して ▶再生／▶
再生モードに切り替えます。

動画像をコピーするときは
動画撮影モードから、
静止画像をコピーするときは、
静止画撮影モードから
▶を押します。

2





MENUを押します。

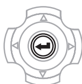
[再生] メニューが表示されます。

3





【▲】【▼】で[カードへコピー]を選び、



OKを押します。

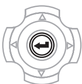
4





【◀】【▶】で☑(実行)を選び、

(キャンセルする場合は ☒ を選びます。)



OKを押します。

コピーが実行されます。コピー中は液晶モニターに ⌛ が表示されます。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows 2000/XP/Vista 日本語版
（※Vistaは32bit版のみ対応）
□USBインターフェース（2.0仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P93

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 ［マイコンピュータ］または［コンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。 P94

↓

3 カメラを取り外す P97

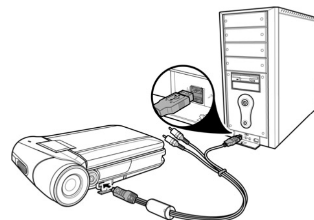
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- 液晶モニターは表示されません。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P30 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- コピー（通信）中はUSB／AVケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。
記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P97 に従って操作してください。

1 カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、電源ボタンを押して電源をオフにします。

2 USB／ASVケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。



差し込む向きにご注意ください。

接続すると電源がオンになり、「マスストレージ」と表示されます。「マスストレージ」と表示されたらOKを押します。
カメラが［リムーバブルディスク（HSC-S2）］として認識されます。

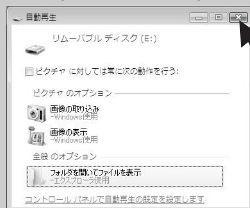
初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。
設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
  「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- Windows XPをお使いの場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。
  Windows Vistaをお使いの場合は [✕] をクリックします。

〈Windows XP〉



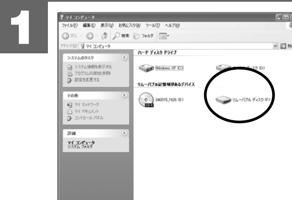
〈Windows Vista〉



2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

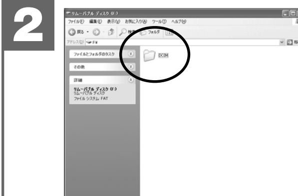


1 カメラとパソコンを接続する

P93 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ] または [コンピュータ] から [リムーバブルディスク（HSC-S2）] をダブルクリックして開きます。

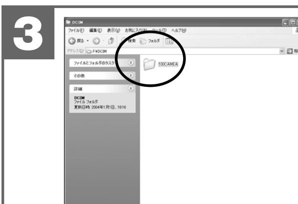
- [リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、**パソコン接続でお困りの時の確認方法** **P99** をご覧ください。

2



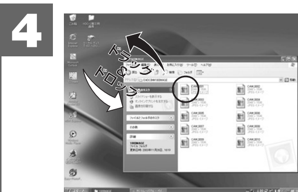
[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3



[100_HCAM]（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

4



パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー（通信）中はUSB／AVケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P64 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：

XXX_HCAM

フォルダの通し番号（100～999）

ファイル名について：

HMPGYYYY.avi（動画像ファイル）

HIMGYYYY.jpg（静止画像ファイル）

ファイルの通し番号（0001～9999）

フォルダの通し番号はフォルダとファイルの合計が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USB／ビデオケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 

タスクバー

タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

〈Windows Vistaの場合〉 ハードウェアの安全な取り外し



〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します



〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (J:) を停止します



［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
（Windows XPでは [OK] のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

4 パソコンでの動画像再生について

- Mac OSはサポートしておりません。
- HSC-S2の動画像をパソコンで再生するには、Windows Media Playerバージョン9以上が必要です。
  ※お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンを確認するにはWindows Media Playerの「ヘルプメニュー」の「バージョン情報」にてご確認ください。
- Windows Media Playerのバージョン9未満の場合は、マイクロソフトホームページよりバージョンアップをお願いします。
- SDメモリーカードを使用（挿入）すると、SDメモリーカードが優先されます。SDメモリーカードの使用時は、内蔵メモリー内の画像をパソコンにコピーしたり、パソコンで再生することはできません。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

カメラをパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコン接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

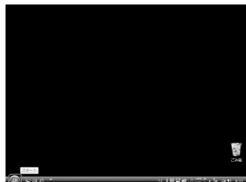
1 最初に、ご使用のパソコンに接続されておりますすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱いたしております専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかり装着されているか、ご確認ください。

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？
Windows 98/98SE/ME→弊社カメラはWindows ME以前のOSのサポートはいたしておりません。
Windows 2000/XP/Vista→ **3** へ進んでください。

3 電池残量が十分にあることを確認してください。P28
確認結果：認識されない。→Windows Vistaをご使用の場合は、**4** へ進んでください。Windows 2000/XPをご使用の場合は **5** へ進んでください。
認識された。→電池が消耗していたと思われます。

4 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



1）“スタート” をクリックする。



2）“コンピュータ”を右クリックし、
“プロパティ” を選択する。
“プロパティ” が表示されない。
→ **8** へ進んでください。



3）システム情報の画面が表示されます。

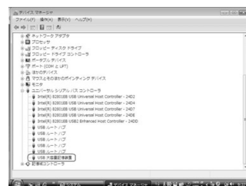
4）システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。

5）“ユーザーアカウント制御”の画面が表示されますので、“続行”を選択する。



6）“デバイスマネージャ”が開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の左側の “+” をクリックする。



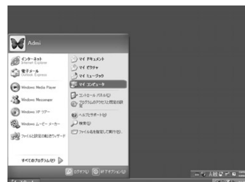
8）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ” の詳細が表示されます。

9）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ” の中に“USB大容量記憶装置” が表示されているかを確認する。

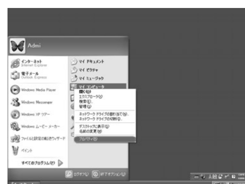
確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されている。
→ **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス” が表示されていない。
→ **10** へ進んでください。

5 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



1）“スタート” をクリックする。

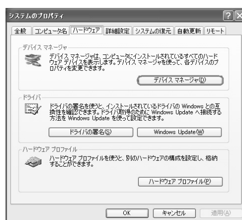


2）“マイコンピュータ” を右クリックし、
“プロパティ” を選択する。
“プロパティ” が表示されない。
→ **8** へ進んでください。



3）“システムのプロパティ”が開きます。

4）“システムのプロパティ”上段の“ハードウェア”を選択する。



5）“デバイスマネージャ”をクリックする。



6）“デバイスマネージャ”が開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の“USB”（Universal Serial Bus）コントローラの左側の“+”をクリックする。



8）“USB”（Universal Serial Bus）コントローラの詳細が表示されます。

9）“USB”（Universal Serial Bus）コントローラの中に“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。
→ **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。
→ **10** へ進んでください。

6 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： **7** へ進んでください。
いいえ： **10** へ進んでください。

7 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： **11** へ進んでください。
いいえ： **9** へ進んでください。

8 “コンピュータ”（Windows Vistaの場合）もしくは、“マイコンピュータ”（Windows 2000/XPの場合）の“プロパティ”が表示されない。

要因：・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。

9 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ”等に表示されない。（Windows Vistaの場合）“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているが、“マイコンピュータ”等に表示されない。（Windows 2000/XPの場合）

要因：・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

10 “USB大容量記憶装置”(Windows Vistaの場合)もしくは、“USB大容量記憶装置デバイス(Windows 2000/XPの場合)が表示されていない”

要因： ・カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
・パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

11 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因： ・パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

付 録

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。 P26
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにする。 P29
	●電源ボタンを押す操作が短すぎた。	→約3秒電源ボタンを押す。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、LEDムービーライト撮影を多用している。	—
	●再生／▶再生モードを多用している。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 P29
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26

動画・静止画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生／▶再生モードになっている。	→▶を押して、動画撮影モード、静止画撮影モードに切り替える。 P18
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。 P29
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。
撮影できない	●動画撮影時、静止画撮影モードになっている。	→MODEを押して、動画撮影モードに切り替える。 P18
	●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。	→MODEを押して、静止画撮影モードに切り替える。 P18
	●動画撮影時、再生モードになっている。	→▶を押して、動画撮影モードに切り替える。 P18
	●静止画撮影時、▶再生モードになっている。	→▶を押して、静止画撮影モードに切り替える。
	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。
	●メモリー残量がない。	→画像サイズを小さくする。 P71 →内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P51 か、別のSDメモリーカードと交換する。 P35

症状	原因	処置
撮影できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック」と表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P37
	●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。	→データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。P64
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
	●マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード（約150cm〜）に切り替える。P45
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約15cm〜約16cm、標準時：約150cm〜）で撮影する。P45
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ぶれ・手ぶれ	→しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。
画像にしまがはいる。	●電源周波数（ヘルツ）が影響している。	→電源周波数（ヘルツ）を合わせる。P33
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P51 か、別のSDメモリーカードと交換する。P35
動画像／静止画像が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している	→新しい電池と交換する。P26

症状	原因	処置
内蔵フラッシュメモリー（128MB）に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P35

動画像／静止画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生／再生モードになっていない。	→を押して、再生／再生モードに切り替える。P18
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像／データを消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P37
	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。P84
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

テレビを使って再生／撮影する

症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●USB/AVケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからUSB/AVケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P58
テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。	●［ビデオ出力］の設定が［PAL］になっている。	→［NTSC］に切り替える。P56

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（［リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●付属のUSB/AV接続ケーブルを使用していない。	→付属のUSB/AV接続ケーブルを使う。
	●USB/AV接続ケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P93 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。 ［デバイスマネージャ］を開き、［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］を確認してください。	→［USB大容量記憶デバイス］に、黄色い「！」マークが付いているときは、［USB大容量記憶デバイス］を［削除］してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（［リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。 ［デバイスマネージャ］を開き、［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］を確認してください。	→［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USB/AV接続ケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P93 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときはP97に従って操作する。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語（Language）]が[English]なっている。	→[表示言語]を[日本語]に切り替える。P60
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
液晶モニターに光の帯が出る	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。※動画像には記録されます。
カメラの操作ができない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P35 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げの販売店へご相談ください。
ディスプレイ表示が突然消える。	●オートパワーオフ機能 P30 がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。P29

警告表示など

表示	原因	処置
カードロック	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P37
プロテクトされています	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。
メモリー残量がありません	●内蔵メモリーのメモリー残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P51 か、別のSDメモリーカードと交換する P35 。 →画像サイズを小さくする。P71
カード残量がありません	●SDメモリーカードのメモリー残量がない。	
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

■ メニューと設定項目

【　　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
動画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P71	QVGA／【VGA】／D1
		画質	P72	【ファイン】／ノーマル
		ホワイトバランス	P74	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		色効果	P76	【カラー】／セピア／モノクロ
静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P71	1M／3M／【5M】
		画質	P72	【ファイン】／標準
		ホワイトバランス	P74	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		色効果	P76	【カラー】／セピア／モノクロ
		連写	P80	【シングル撮影】／連写
		日付プリント	P81	【オフ】／オン
再生モード(動画像)	再生メニュー	消去	P51	画像を消去します。
		画像プロテクト	P82	画像プロテクトを設定します。
		カードへコピー	P89	内蔵メモリーのデータをSDメモリーカードへコピーします。
再生モード(静止画像)	再生メニュー	スライドショー	P87	スライドショー再生を開始します。
		消去	P51	画像を消去します。
		画像プロテクト	P82	画像プロテクトを設定します。
		カードへコピー	P89	内蔵メモリーのデータをSDメモリーカードへコピーします。
セットアップモード	設定メニュー	表示言語	P60	【日本語】／ENGLISH（英語）／簡体中文（中国語）
		操作音	P62	オフ／【オン】
		フォーマット	P64	内蔵メモリー／SDメモリーカードをフォーマットします。
		電源周波数	P33	【50Hz】／60Hz
		日付/時刻	P31	日付/時刻の設定画面を表示します。
		オートパワーオフ	P66	オフ／1分／【5分】
		ビデオ出力	P56	【NTSC】／PAL
		初期設定に戻す	P68	各設定内容を初期設定に戻します。
		メモリ情報	P35	使用メモリーのサイズ、メモリー残量を表示します。

■ 仕様

有効画素数		約500万画素
撮像素子		1/2.5インチ CMOSイメージセンサー （総画素数：約517万画素）
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16GB）（※1） 内蔵128MBフラッシュメモリー（※2）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（画像データ：Motion JPEG、音声：ADPCM）
	記録画素数	D1(720×480)、VGA(640×480)、QVGA(320×240)
	フレームレート	30フレーム/秒
	圧縮率	ファイン(低圧縮(1/14)モード) ノーマル(高圧縮(1/18)モード)
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	2592×1944ピクセル(約500万画素)、 2048×1536ピクセル(約315万画素)、 1280×960ピクセル(約123万画素)
	JPEG圧縮率	ファイン(低圧縮(1/8)モード) ノーマル(高圧縮(1/12)モード)
レンズ	構成	4群5枚（非球面対レンズ2枚）
	焦点距離	f=7.5mm（35mmフィルム換算：約45.5mm）
	F値	F3.2
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタル8倍ズーム
液晶モニター		2.4型TFTカラー液晶、 約11.2万画素（480×234ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約150cm〜∞、マクロ: 約15cm〜約16cm
シャッター		電子シャッター、1/16〜1/2000秒
撮像感度		ISO100相当
測光方式		中央部重点平均測光：49ポイント
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV〜+2.0EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス		オート／プリセット（晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯）
LEDムービーライト	連動範囲(推奨)	<0.6m
	発光モード	オフ／オン／ナイトモード
マイク／スピーカー		内蔵型／内蔵型
セルフタイマー		オフ／5秒／10秒
撮影モード		動画撮影／シングル(通常)撮影／連写撮影
再生モード		動画再生／シングル(通常)再生／スライドショー再生／カードへコピー
オートパワーオフ		オフ／1分／5分
インターフェース		USB端子（USB2.0仕様、音声／ビデオ出力）
電源		単4形乾電池3本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））、USB接続時：パソコンより供給

外形寸法	幅29×奥行74×高さ109mm（突起物含む）
質量	約129.5g（電池、付属品除く）
使用条件	0℃〜40℃、湿度90%以下(結露しないこと)

（※1）SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
（※2）内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約100MBです。

画像記録時間・枚数（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	内蔵128MB フラッシュメモリー	SDメモリーカード 1GB（別売）
D1 720×480	ファイン	1分14秒	11分8秒
	ノーマル	1分30秒	13分31秒
VGA 640×480	ファイン	1分23秒	12分26秒
	ノーマル	1分41秒	15分6秒
QVGA 320×240	ファイン	4分34秒	40分54秒
	ノーマル	5分33秒	49分40秒
5M 2592×1944	ファイン	69	634
	ノーマル	103	931
3M 2048×1536	ファイン	110	991
	ノーマル	165	1486
1M 1280×960	ファイン	278	2497
	ノーマル	409	3672

（※3）画像記録時間・枚数はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

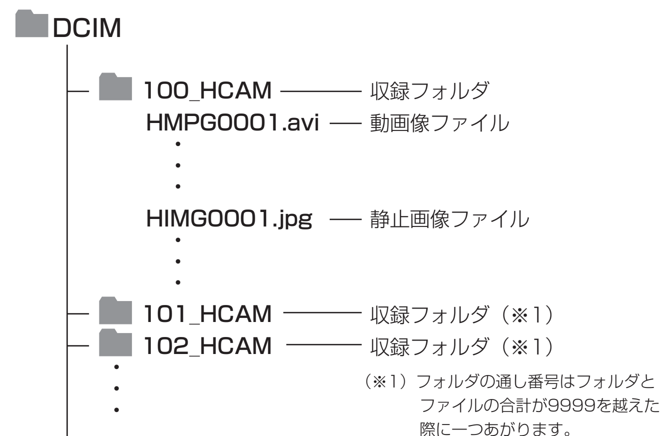
電池寿命の目安（※4）

使用電池	連続撮影可能時間（LEDムービーライト オフ状態）	撮影可能枚数 CIPA
単4形アルカリ乾電池（付属）	約60分（※5）	約100枚（※6）

（※4）気温が低い場所では、使用できる時間は短くなります。
表の記載時間は参考値で、実際の撮影条件によって変わります。
実撮影時間は、上記記載時間より短くなります。
（※5）画像サイズ：VGA、画質：ファイン、ホワイトバランス：オート、色効果：フルカラー、露出補正：＋0　に設定した場合
（※6）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
- 30秒間隔でムービーライトを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

■ 索引

■ メモリー(SDメモリーカード)内のフォルダ構造



（※1）フォルダの通し番号はフォルダとファイルの合計が9999を越えた際に一つあがります。

MEMO

家電品についてのご相談や修理は
お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）9:00〜19:00（365日）／
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、
PHSからもご利用できます。土曜・日曜・
祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の
休日は休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

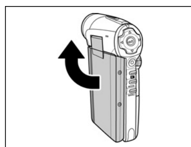
http://www.hitachi-ls.co.jp/

撮影する

詳しくは**動画を撮る** P38 をご覧ください。

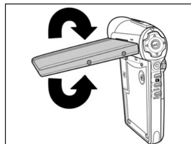
- 電源をオンにする前に、**電池を入れる** P26 に従って、電池を挿入してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P35 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる** P31 の手順で日付／時刻を設定してください。

1



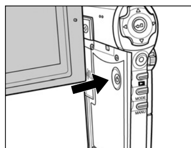
液晶モニタを外側に開きます。

2



液晶モニタを回転させ、撮影条件に合わせて角度を調整します。

3



電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。

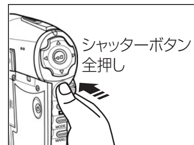
初期設定値は動画撮影モードです。

ON/OFFとも電源ボタンを約3秒押してください。

4



液晶モニターで被写体を確認し、構図を決めます。



シャッターボタンを全押しし、撮影を開始します。
撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

撮影した画像を見る

動画像を見る P47 をご覧ください。

撮影した動画像は液晶モニターで再生できます。

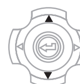
1





動画撮影モードから ▶ を押して 再生モードに切り替えます。

2





【▲】【▼】で再生する動画像を選びます。

3





シャッターボタンを全押しすると再生をスタートし、再生時間がカウントされます。

付録　クイックスタートガイド「とにかく使ってみる」